

保証規定

持込修理

- 取扱説明書にしたがった正常な使用状態でお買い上げ後1年以内に故障した場合には、無償修理いたします。
 - 無償修理期間内に故障して修理を受ける場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店、オムロン(株)の支店またはオムロンフィールドエンジニアリング(株)のネットワークに依頼または送付してください。なお、送付の場合はオムロン(株)の支店またはオムロンフィールドエンジニアリング(株)までの送料の負担をお願いします。
 - 無償修理期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧による故障および損傷。
 - (二) 本書の提示がない場合。
 - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ヘ) 消耗部品。
 - (ト) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
 - この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品質保証書

このたびは、オムロン健康機器を、お買い求めいただきありがとうございます。本機は厳重な検査を行ない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は無償修理いたします。

※本機の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。
This warranty is valid only in Japan.

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただくください。

品名	オムロン吸入器スチームサワ	お買い上げ店名	
形式	NE-S17	住所	
ご芳名		Tel.	()
ご住所		お買い上げ年月日	年 月 日
	Tel. ()		

発売元
オムロン株式会社 ヘルスケアビジネスカンパニー
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 TEL03(3436)7092



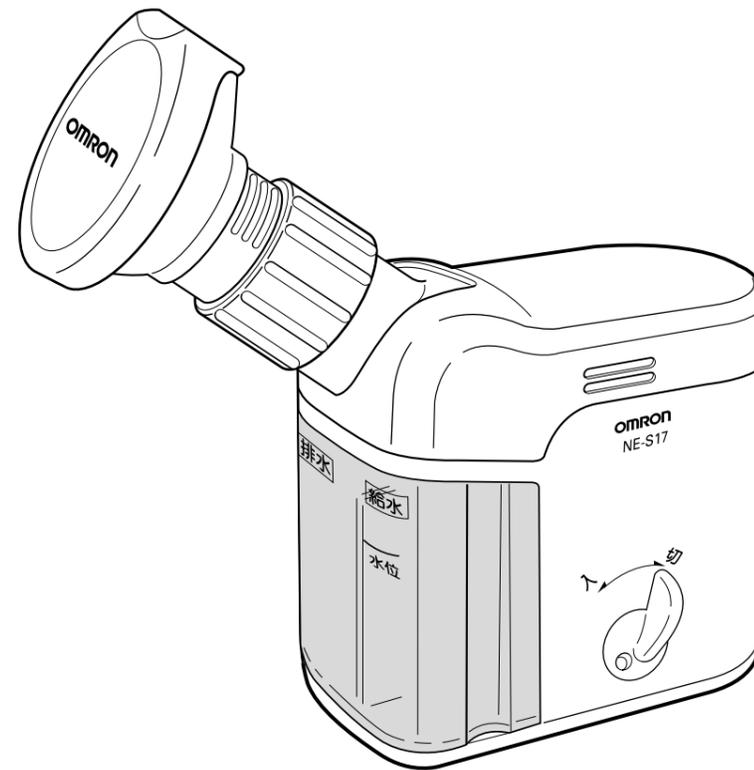
OMRON

A Good Sense of Health

オムロン 吸入器 スチームサワ NE-S17

取扱説明書

- このたびはオムロン吸入器をお買い上げいただきましてありがとうございました。
- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- いつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねていますので、紛失しないように保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	4
ご使用前に	5
準備	7
使い方	
吸入のしかた	9
お手入れ/保管	11
おかしいな?と思ったら	13
仕様\修理のお問い合わせ	14
保証規定・保証書	裏表紙

⚠警告・耳鼻咽喉や呼吸器に疾患(副鼻腔炎、喘息、気管支炎など)のある方や過去にあった方は、専門の医師にご相談の上、ご使用ください。
●薬剤を用いての吸入療法には使用できません。
症状が悪化する恐れがあります。

商品に関するお問い合わせは

オムロン健康相談室がお答えします。

フリーダイヤル **0120-30-6606**
ダイヤルは正確に
むろんオムロン

受付時間(祝日を除く月~金) 10:00~12:00/13:00~16:00
(都合によりお休みさせていただくことがあります。)

オムロン株式会社 ヘルスケアビジネスカンパニー

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-4-10 TEL03(3436)7092

●札幌011(271)7826 ●仙台022(265)2734 ●大宮048(645)8111 ●東京03(3436)7092 ●横浜045(411)7216 ●名古屋052(561)0621
●京都075(223)1135 ●大阪06(6282)2572 ●神戸078(361)1199 ●広島082(247)0260 ●高松087(822)8521 ●福岡092(414)3206

製造元: オムロン松阪株式会社

1601854-0F

1 安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

- ここに示した警告サインと図記号の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告サイン	内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例

△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。		“高温注意”を示します。		“感電注意”を示します。
⊙記号は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊙の中や近くに文章や絵で示します。		“分解禁止”を示します。		“一般的な禁止”を示します。
●記号は強制（必ず守ること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。		“一般的な強制”を示します。		“電源プラグを抜く”を示します。

警告

耳鼻咽喉や呼吸器に疾患（副鼻腔炎、喘息、気管支炎など）のある方や過去にあった方は、専門の医師に相談の上、ご使用ください。 症状が悪化する恐れがあります。	
使用中に体に異常があらわれたり、感じたときには、すぐに使用を中止し、医師に相談してください。 症状悪化などのトラブルにつながる恐れがあります。	
薬剤を用いての吸入療法に使用しないでください。また、吸入水に薬液は絶対に使用しないでください。 症状が悪化する恐れがあります。	
乳幼児や自分で意志表示できない人には使用しないでください。 事故やトラブル、やけどの原因となります。	
吸入以外の目的に、使用しないでください。また、使用中に本体を傾けたり、ゆすったりしないでください。 事故やトラブルの原因となります。	
本体を手で持って使用しないでください。 やけどの恐れがあります。	
噴霧中に吸入口をのぞかないでください。 蒸気により目を痛めたり、やけどをする恐れがあります。	
お子さまが吸入する場合は、必ず大人がついて指導してください。 事故やトラブル、やけどの原因となります。	
使用中はタンクキャップをはずさないでください。 事故やトラブル、やけどの原因となります。	
噴霧ガイド、温度調節ツマミ、吸入口を必ず付けてご使用ください。 蒸気により目を痛めたり、やけどをする恐れがあります。	
使用中や使用後10分以内はタンクキャップを開けないでください。 やけどの恐れがあります。	

安全上のご注意 2

警告

ボイラタンクの注水線を越えて水を入れないでください。 やけどの恐れがあります。	
濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。 感電やケガをすることがあります。	
電源コードや本体を濡らしたり、濡れた手でふれないでください。 感電やケガの恐れがあります。	
使用中に異常が生じ、点検をする場合は、必ず電源スイッチを「切」側にし、電源プラグをコンセントから抜いて、10分以上冷ましてからおこなってください。 やけどをする恐れがあります。	
本体を水洗いしたり、通気孔に水などをかけないでください。 漏電、感電をする恐れがあります。	

注意

電源プラグに着いたホコリはふき取ってください。 電源プラグは、しっかりと根元まで差し込んでください。 感電、ショート、発火の原因になります。	
本器に故障を発見した場合は、使用をすぐに中止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理部門へご相談ください。 感電、ショート、発火の原因になります。	
部品の取り付け、取りはずし、お手入れの前には、必ず電源プラグを抜いてください。 感電やケガをすることがあります。	
停電のときはただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 事故やトラブルにつながる恐れがあります。	
長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 絶縁劣化により感電や漏電火災の原因になります。	
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。 絶縁劣化により感電や漏電火災の原因になります。	
電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。 感電、ショート、発火の原因になります。	
浴室など、湿気の多い場所で使わないでください。 火災、感電の原因となります。	
分解や修理、改造をおこなわないでください。 発火したり、故障や事故の原因となります。	
タコ足配線は、しないでください。 火災や漏電の原因になります。	
必ず交流100Vで使用してください。 使用後は電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 故障や火災、やけどの原因になります。	

⚠️ 注意

コンセントから電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引っ張らず、必ず電源プラグを手で持って抜いてください。
電源コードが、断線やショートして火災や感電の原因になります。



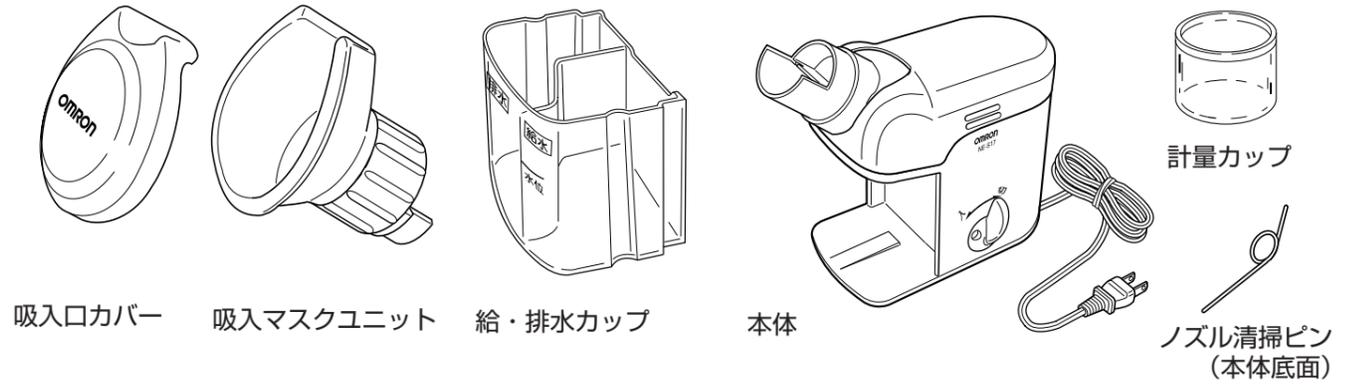
給・排水カップの「給水」側には絶対にお湯を入れないでください。
噴霧温度が高くなりすぎ、やけどの恐れがあります。



温度をぬるく調節しても熱く感じるときは顔を吸入口から離してお使いください。
やけどの恐れがあります。

霧が出なくなったり、弱くなったら終了です。すぐに電源を切ってください。
やけどや事故、トラブルにつながる恐れがあります。

商品内容を確認してください。



👉 お願い

設置時

- 振動、衝撃などのない場所・水平な安定した場所・水のかからない場所などに設置してください。

使用时

- 初めて使用するときや、長期間使用しなかった後に使用するときには給・排水カップなどを、洗浄してください。

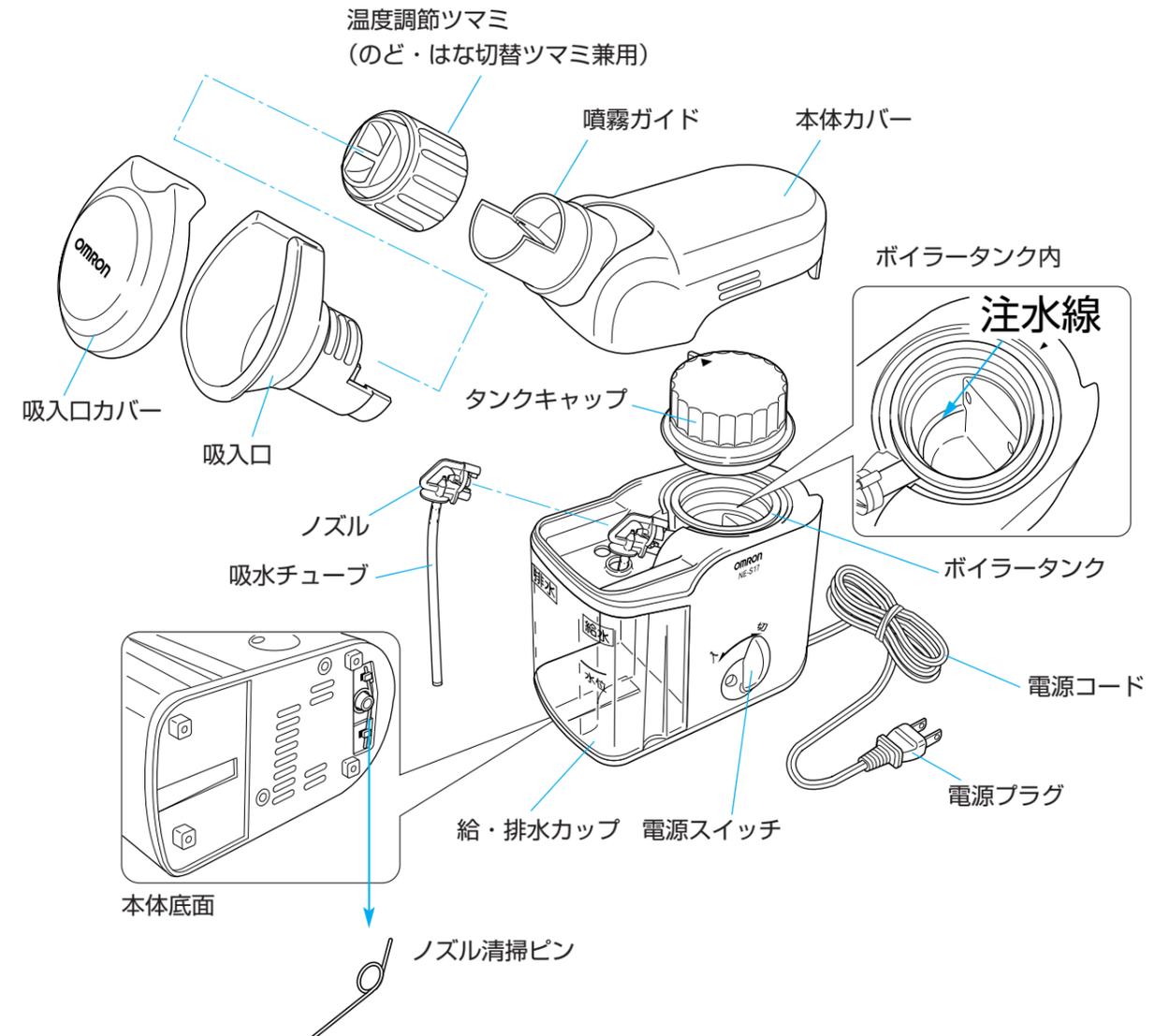
使用后

- 必ず給・排水カップとボイラータンクの水を捨ててください。

保管時

- 安全上のご注意や正しい使い方を守れない方（幼児など）の手の届かないところに保管してください。
事故やトラブルにつながる恐れがあります。
- 直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、水のかかる場所、ホコリの多い場所、火気の近く、振動・衝撃の加わりやすい場所には保管しないでください。

各部のなまえ

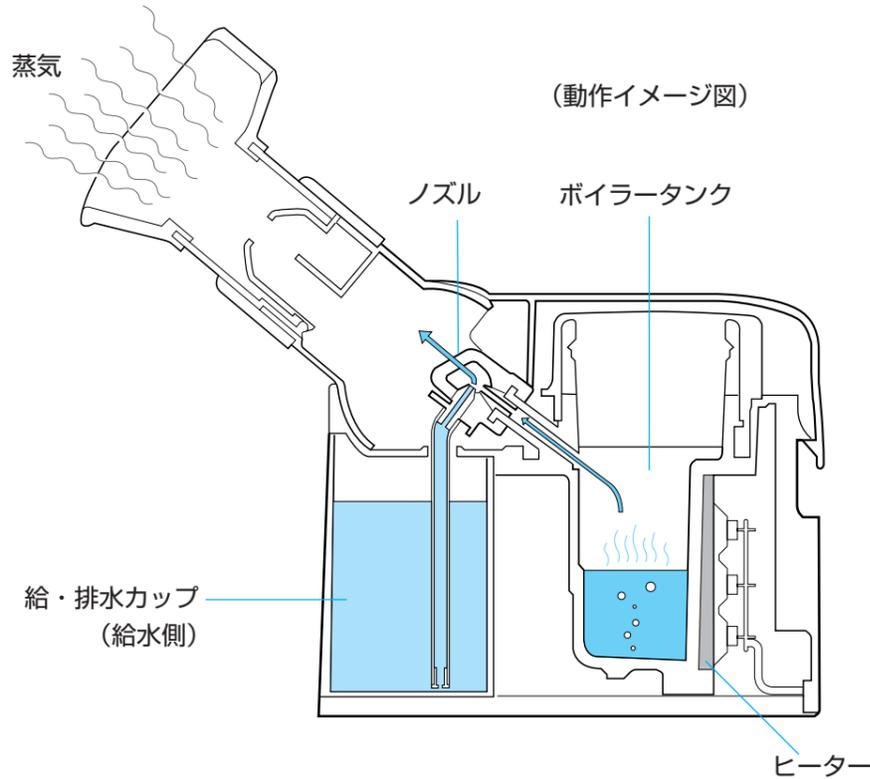


NE-S17のしくみ

NE-S17はのどやはなを温かい霧で加湿、加温し、粘膜の再生作用を助け、のどのイガイガやはなのムズムズした不快感をやわらげます。

吸入液は薬液ではなく吸入水を使用するため、簡単に吸入できます。

ポイラータンク内の吸入水をヒーターで温めてできる蒸気の圧力により、給水側の吸入水を吸い上げて、ノズルから蒸気を噴霧します。



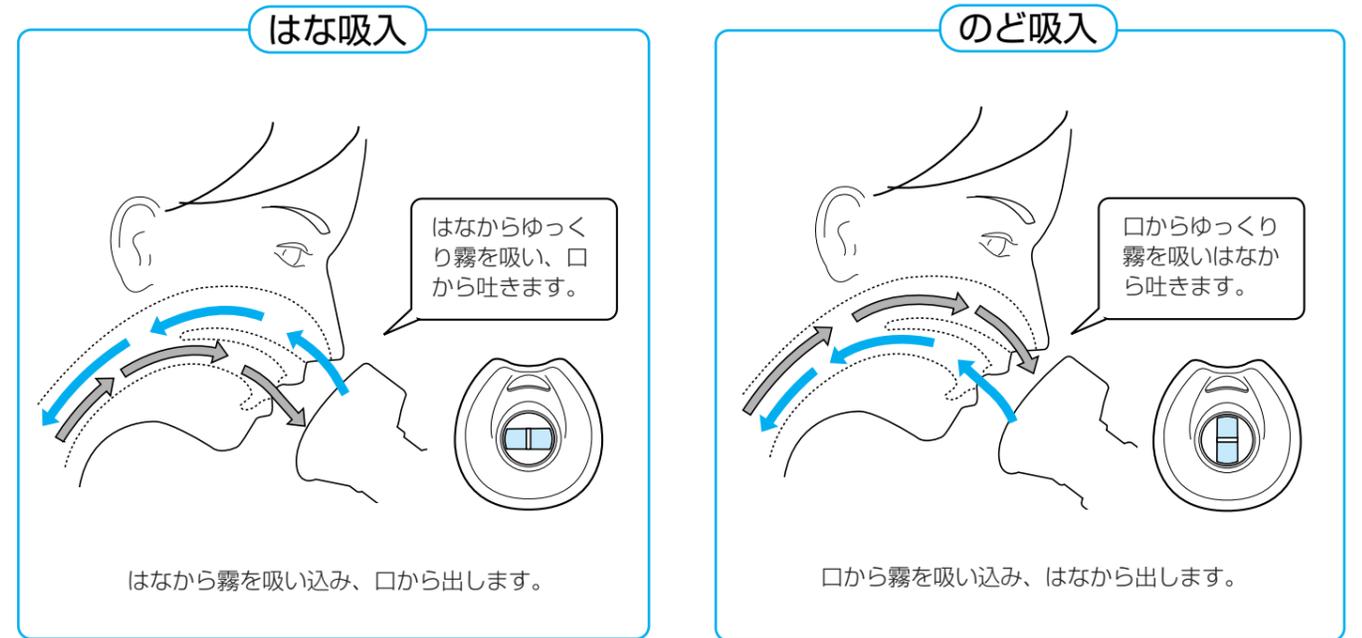
NE-S17の効能・効果

- ◆のどの中 (中咽頭、下咽頭) の加湿、清浄
- ◆はなの中 (鼻腔) の加湿

こんなときにご使用ください

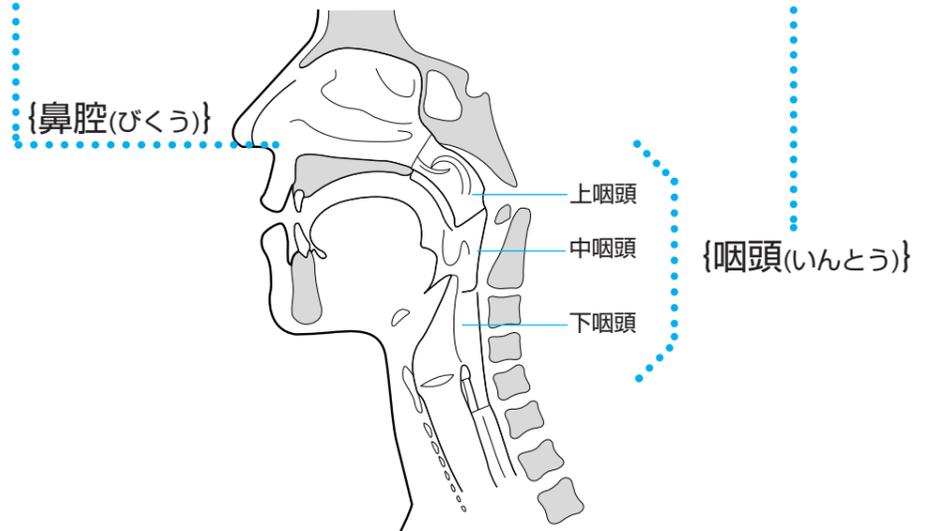
- ◆風邪などで、はな・のどが不快なとき
- ◆花粉やアレルギーなどで、はな・のどがムズムズするとき
- ◆乾燥している季節
- ◆しゃべりすぎてのどが痛いとき

じょうずな吸入のしかた



ワンポイントアドバイス

この部分に効果があります。

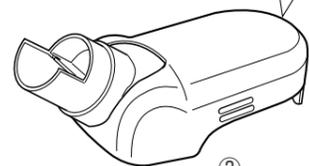
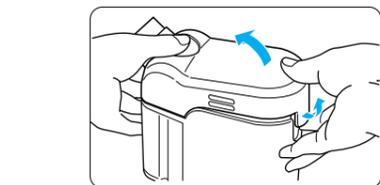


吸入水として使えるもの	
のど吸入の場合	はな吸入の場合
◎水道水または蒸留水	◎水道水または蒸留水
◎1%食塩水または2%重曹水 ※ただし、医師または薬剤師の指導のもとにご使用ください。また、コップなどで固形物がなくなるまでよく溶かしてください。	

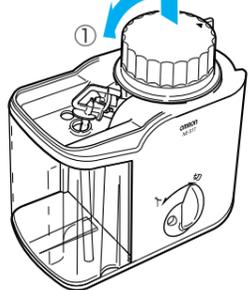
準備 (ボイラータンクには水、給・排水カップに吸入水を入れます。)

ちょっとひとこと 準備の前に本体の電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いておきます。

1 本体カバーとタンクキャップをはずします。



② タンクキャップをはずします。



メモ 本体内部 (ボイラータンク、チューブ等) に水滴が付着していることがあります。これは噴霧テストの水分が残っているもので、衛生上の問題はありません。

2 ボイラータンクに水を入れます。

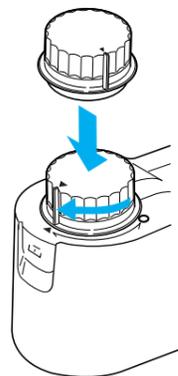


- ・水量は約40 mLです。
- ・ボイラータンク内側の注水線 (一番下の段差) まで入れてください。
- ・付属の計量カップをご使用ください。(水量がきちんと入れられることと、本体が濡れるのを防止するためです。)

メモ ボイラータンクには、水(水道水、蒸留水)以外のもの(薬液、食塩水など)は、絶対に入れないでください。故障の原因となります。

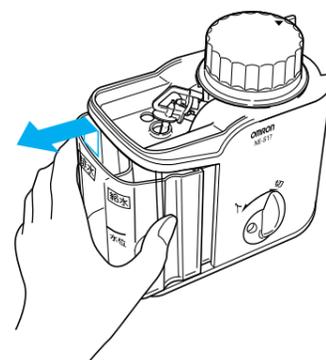
※ボイラタンク内部に白い粉状の模様が見受けられる場合がありますが、耐熱性プラスチックの補強材であり、安全衛生上、機能上問題はありません。

3 タンクキャップを確実に閉めます。



- ① タンクキャップの▼印を本体の○印に合わせます。
- ② タンクキャップを軽く押さえながら、タンクキャップの▼印が本体の▲印に合うまで回して確実に閉めます。

4 給・排水カップを取り出し吸入水の用意をします。



給水側に吸入水を入れます。



- ・水量は、約120 mLです。
- ・「水位」線まで入れてください。
- ・約8分程度吸入できます。

警告

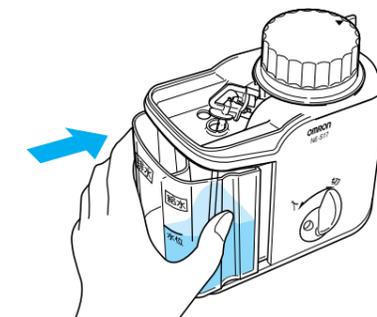
薬剤を用いての吸入療法に使用しないでください。また、吸入水に薬液は絶対に使用しないでください。症状が悪化する恐れがあります。

注意

給・排水カップの「給水」側には絶対にお湯を入れないでください。噴霧温度が高くなりすぎ、やけどの恐れがあります。

5 給・排水カップと本体カバーをセットします。

給・排水カップをセットします。

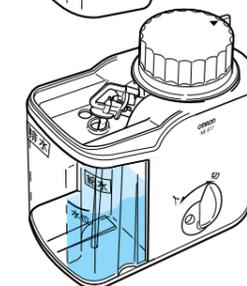
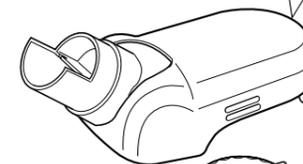
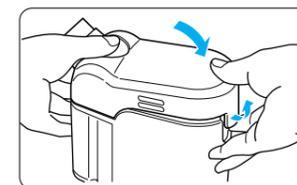


給水チューブを給水側に入れてください。

確認してください

- ・吸水チューブの先端が給水側の底についていますか？
- ・吸水チューブが折れ曲がっていませんか？

本体カバーをセットします。

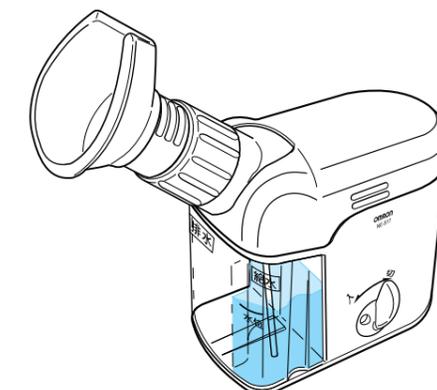


6 吸入口と温度調節つまみを取りつけた後、本体にセットします。



温度調節つまみを手でささえながら本体にセット

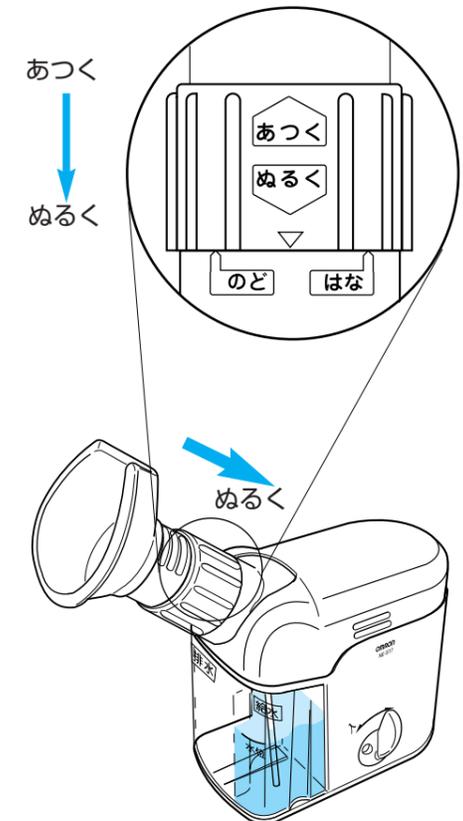
これで準備ができました。



ちょっとひとこと 初めは「ぬるく」に温度調節つまみを調整します。

1 吸入口カバーをはずします。

吸入口カバーをはずします。
温度調節つまみを「ぬるく」にします。



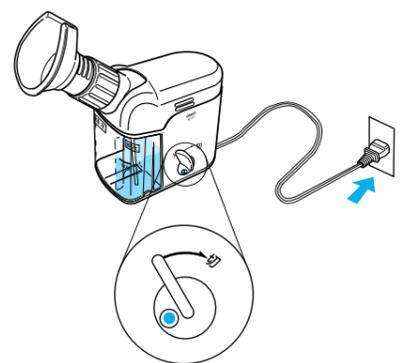
2 「のど」か「はな」を選択します。

のどの場合
温度調節つまみをまわして穴の向きを縦にします。

はなの場合
温度調節つまみをまわして穴の向きを横にします。

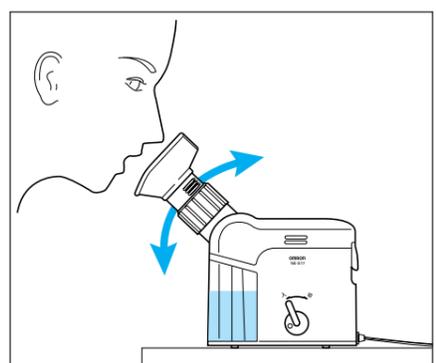
3 電源を入れます。

電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」側にします。
約30秒後に噴霧がはじまります。



電源を入れるとスイッチの窓から赤色が見えます。

4 吸入口の位置を使いやすい高さに調節し、吸入します。



警告
使用中に体に異常あらわれたり、感じたときには、すぐに使用を中止し、医師に相談してください。
症状悪化などのトラブルにつながる恐れがあります。

注意
噴霧中に吸入口をのぞかないでください。
蒸気により目を痛めたり、やけどをする恐れがあります。

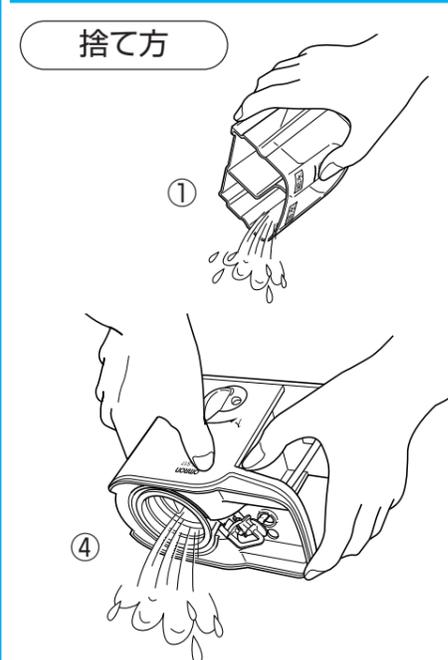
のどの場合
口から霧を吸い込み、はなから出します。

はなの場合
はなから霧を吸い込み、口から出します。

5 「ぬるい」からお好みの温度に調節します。

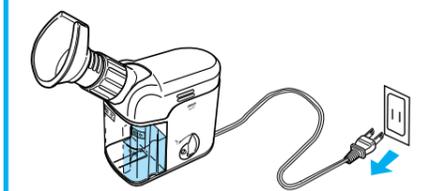
お好みの温度に調節してください。

注意
温度をぬるく調節しても熱く感じるときは顔を吸入口から離してお使いください。
やけどの恐れがあります。



6 吸入が終わったら…

電源スイッチを「切」側にし、電源プラグをコンセントから抜きます。



注意
霧が出なくなったり、弱くなったら終了です。すぐに電源を切ってください。
やけどや事故、トラブルにつながる恐れがあります。

警告
使用中や使用後10分以内はタンクキャップを開けないでください。
やけどの恐れがあります。

- 捨て方**
- ① 給・排水カップに残った吸入水を捨てます。
 - ② 本体カバーをはずします。
 - ③ タンクキャップをはずします。
 - ④ ボイラータンクの水を捨てます。(図のように電源スイッチに水がかからないように捨ててください。)

ちょっとひとこと
※噴霧終了後、給・排水カップの吸水側の水が残っていることがありますが、異常ではありません。

ちょっとひとこと お手入れは商品を長持ちさせるポイントです。
電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて本体を十分に冷ましてからお手入れをしてください。

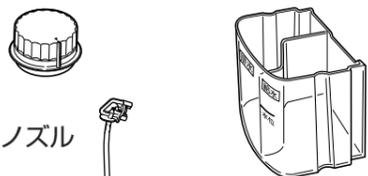
1 部品をはずし、洗えるものとふき取るものを分けます。

■水洗いできるもの

- ① 吸入口カバー ② 吸入口 ③ 温度調節ツマミ



- ④ タンクキャップ ⑤ 給・排水カップ



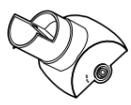
- ⑥ ノズル



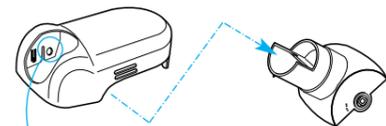
- ⑦ 本体カバー



- ⑧ 噴霧ガイド

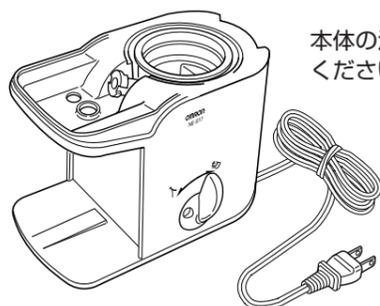


※噴霧ガイドは、本体カバーの内側にある凹凸に注意してはずします。



※噴霧ガイドの組み立て時、図の○印部分を両サイドに軽く広げます。

■ふき取るもの



本体の汚れは水で湿らせた布で軽くふいてください。

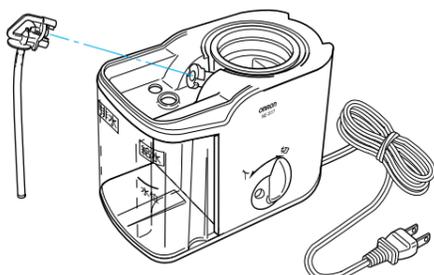
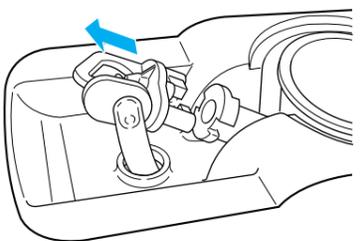
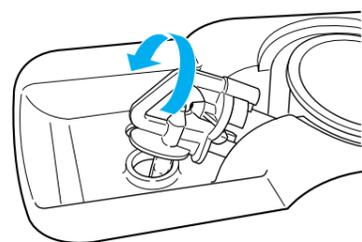
警告

本体を水洗いしたり、通気孔に水などをかけないでください。
漏電、感電をする恐れがあります。



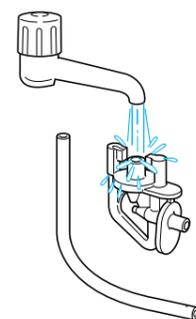
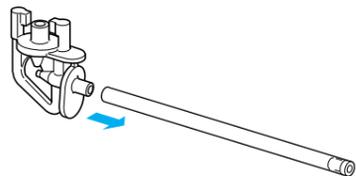
2 ノズルの取りはずしかた。

矢印方向に約90度まわしてから本体から引き抜きます。

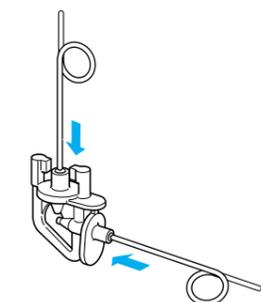


3 ノズルの清掃のしかた。

ノズルは下図のようにチューブをはずして、水洗いしてください。



ノズルが詰まったときは、図のようにノズル清掃ピンで手入れをしてください。



お願い

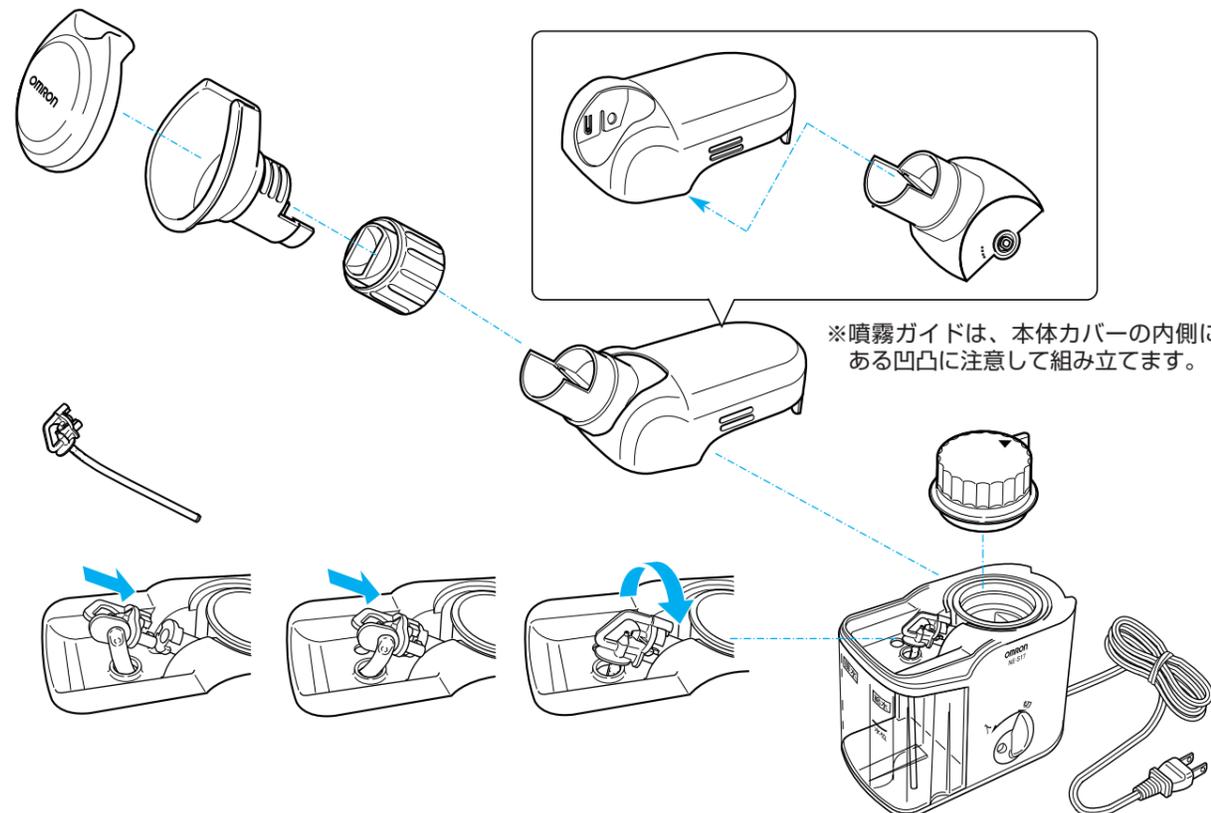
安全上のご注意や正しい使い方を守れない方（幼児など）の手の届かないところに保管してください。
事故やトラブルにつながる恐れがあります。

ちょっとひとこと 保管のコツは部品を十分に乾燥させることです。

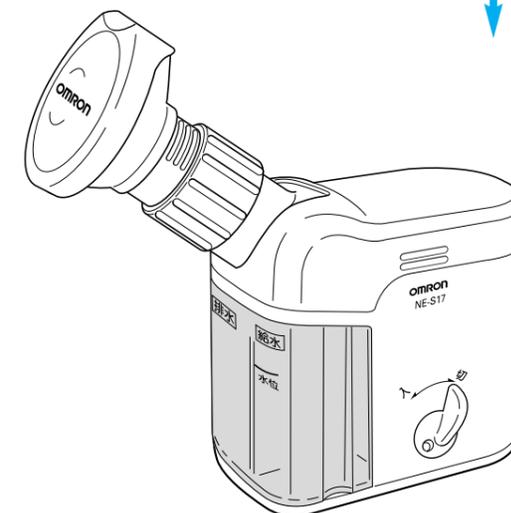
4 保管のしかた

・直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、水のかかる場所、ホコリの多い場所、火気の近く、振動や衝撃の加わりやすい場所には、保管しないでください。

よく乾燥させてから、はずした部品を取りつけ、保管してください。



※噴霧ガイドは、本体カバーの内側にある凹凸に注意して組み立てます。



ご使用中に異常が生じた場合には、まず次の点をお調べください。

警告

必ず電源スイッチを「切り」側にし、電源プラグをコンセントから抜いて、10分以上冷ましてからおこなってください。
やけどをする恐れがあります。



こんなとき	点検するところ	対処のしかた
■使用中、急に噴霧が停止したり、タンクキャップのまわりから多量の蒸気が漏れてきた。	■ノズルが目詰まりしていませんか? ■タンクキャップは正しく閉まっていますか?	■ノズルを清掃してください。 ■タンクキャップを確実に閉めます。P.7参照
■使用中、ノズルから頻りに熱湯が噴射する。	■吸水チューブが排水側に入っていないですか? ■ボイラータンクに水を入れすぎていませんか?	■吸水チューブを給水側に入れてください。 ■一度水を捨て、付属の計量カップ一杯分の水(約40 mL)を入れ直してください。
■誤って本体を水で濡らしてしまった。	■電源が入っている場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本体の水分を乾いた布でふき取り、十分に乾燥させた後ご使用ください。	
■電源スイッチを入れても蒸気が出てこない。	■電源プラグが正しくコンセントに差し込まれていますか? ■ボイラータンクに水が入っていますか? ■ノズルに何かつまっていますか?	■確実に接続します。P.9参照 ■「注水線」まで水をいれます。P.7参照 ■ノズルを清掃します。P.11参照
■急に噴霧が止まった。	■ノズルに何かつまっていませんか? ■ボイラータンクに水が入っていますか?	■ノズルを清掃します。P.11参照 ■「注水線」まで水をいれます。P.7参照
■霧の出が悪い。	■ノズルに何かつまっていませんか? ■タンクキャップは正しく閉まっていますか? ■吸水チューブが途中で折れ曲がっていませんか? ■給・排水カップの「給水」側に吸入水と吸水チューブが入っていますか?	■ノズルを清掃します。P.11参照 ■タンクキャップを確実に閉めます。P.7参照 ■吸水チューブをまっすぐに入れます。P.8参照 ■吸水チューブを「給水」側に入れます。P.8参照
■噴霧の温度が高すぎる	■給・排水カップの「給水」側に吸入水と吸水チューブが入っていますか? ■吸水チューブが途中で折れ曲がっていませんか? ■温度調節をしましたか?	■吸水チューブを「給水」側に入れます。P.8参照 ■吸水チューブをまっすぐに入れます。P.8参照 ■温度調節ツマミで調節します。P.10参照 ■調節しても熱く感じるときは、顔を吸入口から離して使います。P.10参照

※上記の方法でも、直らない場合は下記のオムロン健康相談室へご相談ください。

商品に関するお問い合わせは
オムロン健康相談室がお答えします。



全国どこからでも
フリーダイヤル **0120-30-6606** むろん オムロン ダイヤルは正確に

受付時間/10:00~12:00/13:00~16:00(月~金)
(都合によりお休みさせていただくことがあります。)

※商品の故障および修理の依頼につきましては、14ページに記載のオムロンフィールドエンジニアリング(株)にお問い合わせください。

仕様

名称	オムロン吸入器スチームサワ
形式	NE-S17
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	250W
噴霧開始時間	通電後約30秒
ボイラータンク容量	約40 mL
給排水カップ容量	約120 mL
本体質量	約770g (吸入口・本体カバー装着時)
外形寸法 (本体のみ)	104(幅)×145(高さ)×168(奥行き) mm
(吸入口・本体カバー装着時)	104(幅)×253(高さ)×250(奥行き) mm
付属品	ノズル清掃ピン、計量カップ、吸入口カバー、取扱説明書(品質保証書付)
医療用具承認番号	21000BZZ00446000
型式認可番号	第81-23293号

別売品：ノズルセット、タンクキャップセット、給・排水カップ、吸入マスクユニット、計量カップ

別売品のお求めはお買い上げの販売店、または全国どこからでも電話一本でご注文いただけます下記フリーダイヤルをご利用ください。

別売品のお求めは **オムロンお客様サービスセンター**へ
〈通話料無料〉 **0120-35-5066**
受付時間(祝日を除く月~金) 9:00~19:00

※お断りなく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

修理のお問い合わせは

お買い上げの販売店または下記のオムロンフィールドエンジニアリング(株)のネットワークまでお問い合わせください。品質保証書の記載内容により修理をさせていただきます。^{99.11}

北海道地区の方	オムロンフィールドエンジニアリング北海道(株)札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1 サンメモリア6階	TEL011(281)5125
東北地区の方	オムロンフィールドエンジニアリング(株)仙台支店 〒980-0802 仙台市青葉区二日町18-26 二日町OAビル3階	TEL022(261)7054
関東地区の方	オムロンフィールドエンジニアリング(株)第2サービス部 〒150-0013 渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル2階	TEL03(3448)8104
	オムロンフィールドエンジニアリング(株)北関東支店 〒336-0007 浦和市仲町1-14-8 三井生命浦和ビル2階	TEL048(833)7911
	オムロンフィールドエンジニアリング(株)横浜テクノセンタ 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第一安田ビル2階	TEL045(312)1923
東海地区の方	オムロンフィールドエンジニアリング(株)名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21 安田火災名古屋ビル7階	TEL052(962)3268
	オムロンフィールドエンジニアリング(株)静岡テクノセンタ 〒420-0859 静岡市栄町4-10 静岡栄町ビル2階	TEL054(254)3718
北陸地区の方	オムロンフィールドエンジニアリング(株)金沢支店 〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29 サン金沢ビル1階	TEL076(261)5467
関西地区の方	オムロンフィールドエンジニアリング(株)第2サービス部 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-9 古河大阪ビル西館1階	TEL06(6348)1814
	オムロンフィールドエンジニアリング(株)京都支店 〒604-8141 京都市中京区蛸薬師通高倉西入ル泉正寺町334 日昇ビル1階	TEL075(255)9909
	オムロンフィールドエンジニアリング(株)神戸テクノセンタ 〒650-0001 神戸市中央区加納町4-3-17 但銀神戸ビル7階	TEL078(327)1204
中四国地区の方	オムロンフィールドエンジニアリング(株)広島支店 〒730-0016 広島市中区鞆町13-14 新広島ビル5階	TEL082(227)1573
九州地区の方	オムロンフィールドエンジニアリング九州(株)福岡第1支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多偕成ビル3階	TEL092(451)6837
	オムロンフィールドエンジニアリング九州(株)鹿児島支店 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5-6 鹿児島県プロバングス会館4階	TEL099(252)7674

※所在地・電話番号を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

おかしいな?と思ったら/健康相談室 保証など

仕様/修理のお問い合わせは 保証など